

TOKAI グループ健康経営に関する取組みについて

■ 健康経営に関して

1. 健康リテラシー向上へのアプローチ

健康リテラシー向上を目的とするため、運動・食事・睡眠をテーマにしたオンライン研修やイベントを実施しています。

(2025 年度の実施)

- ウォーキングイベントの実施（投資額 7,587 千円）
7 月 1,923 名参加（399 名）
8 月 1,937 名参加（401 名）
9 月 1,932 名参加（396 名）
10 月 1,938 名参加（395 名）
11 月 1,911 名参加（399 名）
12 月 1,899 名参加（394 名）
1 月 1,868 名参加（391 名）
() 内は従業員家族の参加者数
- 運動、食事、睡眠のオンライン研修の実施
- 日本健康マスター検定取得推奨
- 取引先への健康経営支援（健康セミナーの案内）

(2026 年度の実施予定)

- ウォーキングイベントの実施
- 運動、食事、睡眠のオンライン研修の実施
- 動脈硬化に関するオンライン研修の実施
- 日本健康マスター検定取得推奨の実施
- 健康測定・運動イベントの実施
- 健康リテラシー結果の通知

2. 脳血管疾患、心疾患発症抑制へのアプローチ

脳血管疾患・心疾患発症者を一人でも削減するため、ハイリスク者を中心に発症抑制のアプローチを行なっています。

(2025 年度の実施)

- 定期健康診断後の要受診者への受診勧奨の徹底
- 動脈硬化が進行している恐れのある方への注意喚起
- 保健指導の実施拡大
(対象：21 名 実施：16 名 実施 指導継続完了：100%)
- 人間ドックの会社補助金の支給（健康保険組合上の扶養者）
- 脳ドック補助金の対象年齢の方への脳ドック受診勧奨

(2026 年度の取組み予定)

- 定期健康診断後の要受診者への受診勧奨の徹底
- 動脈硬化が進行している恐れのある方への注意喚起
- 保健指導の実施
- 人間ドック会社補助金の対象年齢の引き下げおよび補助額の拡大（健康保険組合上の扶養者）
- 脳ドック補助金の対象年齢の方への脳ドック受診勧奨
- 動脈硬化に関するオンライン研修の実施
- 健康診断結果の見方・意味・留意事項セミナーの実施
- 血圧・血糖・脂質のリスクごとのセミナーの実施
- HbA1c（血糖検査）の定期健康診断必須項目の追加

3. 生活習慣病対策へのアプローチ

生活習慣病予防のため、定期健診後の要受診者への対応強化や、喫煙対策、朝食欠食対策、多量飲酒対策に取り組んでいます。

(2025 年度の取組み)

<定期健康診断後の要受診者への対応>

- ヘルスケアリーダーおよび上司による受診勧奨の徹底
- 再検査の受診費用補助
- 健康診断結果の見方と生活習慣改善セミナーの実施

<喫煙対策>

- CHO から禁煙啓発の手紙送付
(対象者 399 名・禁煙成功者 138 名)
- 禁煙治療の費用補助
オンライン禁煙プログラム
通院型禁煙プログラム
- 保健指導による禁煙 (対象者 15 名・禁煙成功者 7 名)

<朝食欠食対策>

- 朝食に関する動画教育 (視聴者 1016 名)

<多量飲酒対策>

- 多量飲酒者への保健指導の実施
- 飲酒動画教育の実施

(2026 年度の取組み予定)

<定期健康診断後の要受診者への対応>

- ヘルスケアリーダーおよび上司による受診勧奨の徹底
- 再検査の受診費用補助

<喫煙対策>

- CHO から禁煙啓発の手紙送付
- 各社にあった禁煙対策を実施
- 禁煙治療の費用補助（オンライン禁煙プログラム、通院型禁煙プログラム等）
- 希望者へ禁煙ガムの支給
- 保健指導による禁煙
- インセンティブの付与（紹介者）

<朝食欠食対策>

- 朝食に関する動画教育の実施
- 独身寮、単身赴任寮 入寮者への健康レシピの提供

<血糖リスクへの対応>

- 保健指導の実施
- ウォーキングイベントへの参加推奨
- 運動、食事、睡眠等のオンライン研修の実施

<肥満対策>

- 保健指導の実施
- ウォーキングイベントへの参加推奨
- 運動、食事、睡眠等のオンライン研修の実施

4. テレワーク下における健康増進へのアプローチ

テレワークの利用者増加に伴い、テレワーク下における特有の健康課題への対応に取り組んでいきます。

（2025 年度の実施）

- ウォーキングイベントへの参加推奨
- 各社にあった健康課題対策を実施

（2026 年度の実施予定）

- ウォーキングイベントへの参加推奨
- 各社にあった健康課題対策を実施

5. 高齢者の健康状態の改善、体力維持へのアプローチ

定年が 65 歳まで延長され、これまで以上に 60 歳代の従業員の活躍が期待されます。高齢者（60～65 歳）の健康状態の改善と体力維持に取り組んでいます。

（2025 年度の実施）

- 脳ドック補助金の対象年齢の方への脳ドック受診勧奨
- 高齢者向け情報提供、セミナー実施（1,109 名視聴）

- ウォーキングイベントへの参加推奨

(2026 年度の取組み予定)

- 脳ドック補助金の対象年齢の方への脳ドック受診勧奨
- 高年齢向け情報提供、セミナー実施
- ウォーキングイベントへの参加推奨

6. メンタルヘルスへのアプローチ

メンタル不調の未然防止に向けたメンタルヘルス対策を推進するため、ストレスチェックの組織診断結果をもとにした職場改善研修を実施しています。また、管理者向けと従業員向けの研修を計画的に実施し、外部 EAP（Employee Assistance Program: 従業員支援プログラム）機関の活用を行なっています。

(2025 年度の取組み)

- カウンセリングおよび職場改善検討会の実施
- セルフケア動画教育の実施（受講人数 3,398 名・受講率 81%）
- ラインケア動画教育の実施（管理者受講人数 751 名・受講率 78%）
- ストレスチェック組織分析の全社展開

(2026 年度の取組み予定)

- カウンセリングおよび職場改善検討会の実施
- セルフケア動画教育の実施
- ラインケア動画教育の実施
- EAP（従業員支援プログラム）専門会社によるセミナー
- ストレスチェック組織分析の全社展開
- 新入社員高ストレス者への面談

7. がん対策支援

主要 5 大がん（肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん、子宮がん）の検診実施および検診の受診促進を行っています。肺がん、大腸がん、胃がんは、定期健康診断の法定項目の徹底受診および受診項目を追加することで受診をしています。

(2025 年度の取組み)

- がん対策推進企業アクション「がん検診のススメ」の情報提供

(2026 年度の取組み予定)

- がん対策推進企業アクション「がん検診のススメ」の情報提供

8. 女性の健康課題へのアプローチ

女性従業員の活躍が期待されています。女性の健康状態の改善と仕事環境の向上に取り組んでいます。女性特有疾患の乳がん、子宮頸がんに関しては、会社からの一定の補助をすることで検診の受診促進を行っています。

(2025 年度の取組み)

- 女性特有疾患対策の動画教育実施 1,633 名視聴
- 女性特有疾患に関する動画教育（新任管理者向け） 36 名受講（受講率 59%）
- 婦人科検診（乳がん・子宮頸がん）の費用補助
- 骨密度検査の費用補助

(2026 年度の取組み予定)

- 女性特有疾患対策セミナーの実施
- 女性特有疾患に関する動画教育（新任管理者向け）
- 婦人科検診（乳がん・子宮頸がん）の費用補助
- 骨密度検査の費用補助
- プレコンセプションケアセミナーの実施

9. 専門知識の習得への支援 等

健康リテラシーの高い従業員を増やすため、産業保健スタッフによる健康情報全般の提供を継続的に行なっているとともに、健康に関わる資格検定の習得を推奨しています。

(2025 年度の取組み)

- 日本健康マスター検定（日本健康生活推進協会主催）の受検推奨
日本健康マスター検定：419 名、エキスパート：205 名合格（2025 年 6 月時点累計）
- 日本健康マスター検定【健検】の企業別合格者数ランキング第 12 位（第 1 回～26 回までの合計）
（出典：「健康マスター」企業別合格者数ランキング（第 1 回～第 26 回）を発表！／健康マスター検定協会（一般社団法人 日本健康生活推進協会））
- 産業保健スタッフによる社内広報誌への健康情報の掲載
- 健康啓発セミナー（新任管理者向け）の実施
- 肩こり腰痛解消アプリの活用
- 睡眠時無呼吸症候群（SAS）検診サービスの提供（20 名）
- 歯科検診費用補助

(2026 年度の取組み予定)

- 日本健康マスター検定（日本健康生活推進協会主催）の受検推奨（新任管理者、ヘルスケアリーダー、新入社員へ受検料の補助）
- 産業保健スタッフによる社内広報誌への健康情報の掲載
- 健康啓発セミナー（新任管理者向け）の実施
- 新入社員向け・キャリア採用者向け 健康管理・体調管理セミナーの実施
- 肩こり腰痛解消アプリの活用
- 頭痛・片頭痛対策セミナーの実施
- 歯科セミナーの実施